

平成 30 年度 社会科年間授業計画 [6年]

教科書：日本文教出版

月	単元・教材	時数	単元の目標
4	上巻の導入 歴史のとびらを開けよう	1	●これから学習する事象に関心を持ち、社会科学習への意欲を高めることができる。 ●4万年の歴史や昔(旧石器時代)の様子を調べ、どのような時代だったのかを考えることができる。
	1 大昔のくらしと国の統一 ① 大昔のくらしと国の統一 ② 国が統一される	8	●狩猟・採集の生活や農耕の生活を取り上げ、長い期間、豊かな自然の中で狩猟・採集の生活が営まれていたところの様子や農耕が始まったところの人々の生活や社会の様子について理解することができる。
5	2 貴族の政治とくらし ① 新しい国づくりをめざす ② 貴族が生み出した新しい文化	8	●大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営、貴族の生活について調べ、天皇を中心とした政治が確立されていったことや、日本風の文化がおこったことを理解することができる。
	3 武士による政治のはじまり ① 源氏と平氏の戦いと鎌倉幕府	5	●源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて調べ、武士による政治が始まったことを理解することができる。
6	4 今に伝わる室町の文化と人々のくらし ① 室町文化が生まれる	5	●京都の室町に幕府がおかれたころの代表的な建造物や絵画について調べ、室町文化が生まれたことを理解することができる。
	5 天下統一と江戸幕府 ① 信長・秀吉・家康と天下統一 ② 江戸幕府による政治	9	●キリスト教の伝来、織田信長・豊臣秀吉の天下統一、徳川家康の江戸幕府の始まり、幕府の大名配置、参勤交代などの大名支配、身分制度の確立、鎖国について調べ、戦国の世が統一され、武士による政治が安定したことを理解することができる。
8 9	6 江戸の社会と文化・学問 ① 人々のくらしのようす ② 町人文化と新しい学問	6	●武士が支配者である身分制度のもとでの百姓や町人のくらしや歌舞伎、浮世絵、国学、蘭学について調べ、産業が発達したことや流通経路の整備や販売の工夫で町人が力をつけていったこと、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解することができる。
	7 明治の新しい国づくり ① 黒船の来航 ② 新政府による政治	7	●ペリーが率いる米国艦隊の来航や新政府が進めた新しい国づくりについて調べ、黒船の来航により我が国が開国し、江戸幕府が倒れるきっかけとなったことや欧米の文化を取り入れつつ近代化が進んだこと、欧米諸国と対等な関係を構築したことを理解することができる。
10	8 国力の充実をめざす 日本と国際社会 ① 大日本帝国憲法と条約改正 ② 二つの戦争と人々のくらしの変化	8	●大日本帝国憲法の発布と国会開設、不平等条約改正、日清・日露戦争での勝利、韓国併合、近代産業の発達などについて調べ、近代化を進め、欧米諸国と対等な関係を構築したことや世界の中の日本として近代化が進められたことを理解することができる。
11	9 アジア・太平洋に広がる戦争 ① 戦争への道 ② 戦争と人々のくらし	8	●日本と中国との戦いが全面化したことやアジア・太平洋地域における連合国との戦いについて調べ、日本が戦時体制に移行したことや空襲、沖縄での戦い、原爆の投下など、国民が大きな被害を受けたことを理解することができる。
12	10 新しい日本へのあゆみ ① 新しい日本への出発 ② 平和で豊かな国をめざして	9	●終戦直後の人々のくらしや日本国憲法の制定、経済の発展、オリンピックの開催などについて調べ、我が国は、第二次世界大戦後、民主国家として出発したことや我が国は、国民生活が向上し、国際交流や国際貢献の面で重要な役割を果たしてきたことを理解することができる。

1	下巻の導入 1 わたしたちの暮らしと政治 ① わたしたちの願いと政治のはたらき	10	●高齢者のための福祉政策などの日常生活における政治の働きや、我が国の政治の考え方について調べ、政治は人々の願いをもとにしながら、国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解することができる。
	2 わたしたちの暮らしと憲法	6	●日本国憲法と我が国の政治や国民生活との関わりについて関心を持ち、意欲的に調べることを通して、日本国憲法に基づく我が国の政治の働きについて理解することができる。
2	3 世界のなかの日本とわたしたち 日本とつながりの深い国々	6	●我が国と経済や文化などの面でつながりの深い国の人々の生活の様子を調べ、外国の人々とともに生きていくためには、異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であることを理解することができる。
	① 国際連合のはたらきと日本人の役割	8	●国際連合の働きや世界のなかの日本人の役割について、我が国は平和な国際社会の実現に向けて交際交流や国際協力をおこなっていること、我が国が国際社会において重要な役割を果たしていることを理解することができる。
計		105 時間	

評価方法	学習の様子，準備物や家庭学習（長期休業の宿題を含む），提出物の状況 ワークシート，ノート，発言の様子，テスト等
家庭へのお願い	○学習で使用する物・・・教科書，資料集，地図帳，ノート ○家庭学習 テストの見直し，つまずきの把握・見直し 復習プリント（分からない部分は調べて記入） 自学での取り組み（学習内容の予習・復習） ☆歴史的・社会的な事柄に触れさせてください。